

001

ファンタジー・SF1

角川書店

9136



きまぐれロボット

きまぐれろぼっと

著 星新一

この本には短いお話がいくつも書いてあり、一つの物語が五分くらいで読めるので、ちょっと時間があるとき、本を読むのが苦手な人でも楽しみながら読める本です。例えばあるお話では、すごく便利でおもしろいロボットができたと聞いて買った人が、使っていたら故障したかと思いきや…。など、結末が知りたいというわくわくした気持ちになれます。一度読んだら止められなくなるはずですよ。／若葉中 M.K

星新一さんは1001編のショートショートを書いたことで有名です。ほかの本もぜひ探してみてください。

002

ファンタジー・SF1

講談社

9136



霧のむこうのふしぎな町

きりのむこうのふしぎなまち

作 柏葉幸子 絵 竹川功三郎

中学生には幼すぎるものなのでは…と思う人もたくさんいると思います。私はこの本を小学校三年生のときに読みました。とても面白かったです。ただ、その面白い理由を聞かれると、どうも答えにくい自分がいました。でも、中学生になってもう一度読み返してみたいです。すると、前に読んだ時よりも、確実に面白くて、主人公のリナが繰り広げる、ふしぎな旅を見事に表現しているなあと感心しました。皆さんにもぜひ読んでもらいたいです。／桜丘中 ムー★

『不思議の国のアリス』をおすすめしてくれた人もいましたが、前に読んだ本、読んだつもりの本をもう一度読むのも、新しい発見がありそうですね。



チョコレート・アンダーグラウンド

ちょこれーと・あんだーぐらうんど

著 アレックス・シアラー 訳 金原瑞人

この本は、チョコレートをとりかえすために、仲間との絆を深める物語です。最初は意見がぐいちがったり、けんかして仲間割れをすることもありますが、でもそういうことがあったからこそ、絆がより深まり、思いやる心もできるのだと思います。一人ではできないことも仲間みんなできやればできることもあると、わたしはこの本を読んで学びました。子どもたちが、大人に向かって戦うところはとてもかっこいいです。／菊井中 O.Y

チョコレートを禁止されるなんて、驚くような法律ですが、何かを禁止されることはよくある話です。そんなときどうするか、考えさせられますね。

004

ファンタジー・SF1

アスキー・メディアワークス

9136



キノの旅-the Beautiful World-シリーズ

きののたび-ざびゆーていふるわーど-しりーず

表紙:キノの旅-the Beautiful World

著 時雨沢恵一 絵 黒星紅白

キノと仲間たちのアクションやリアクション(セリフ)がとてもおもしろいので、ぜひ読んでみてください。

005

ファンタジー・SF1

新潮社

9136



しゃばけ

しゃばけ

著 中村恵

主人公一太郎の家にいるよう怪たちがとても個性的でおもしろく、一太郎とのやりとりがとても楽しいです。



I like books!!

What is your favorite book?

006

ファンタジー・SF1

メディアファクトリー

953



タラ・ダンカンシリーズ

たら・だんかんしりーず

表紙:タラ・ダンカン 若き魔術師たち(上)

著 ソフィー・オドゥワン・マミコニアン 訳 山本知子

魔術師のタラ・ダンカンを主人公にエルフや小人などが登場します。ファンタジーの魅力がぎゅっとつまった本です。

007

ファンタジー・SF1

岩波書店

933



ナルニア国物語シリーズ

なるにあこくものがたりしりーず

表紙:ライオンと魔女

作 C.S.ルイス 訳 瀬田貞二

この本を読み終えたとき、たんすの中をのぞいてしまいました。それくらい、引き込まれるお話なのです。

008

ファンタジー・SF1

静山社

933



ハリー・ポッターシリーズ

はりー・ぼったーしりーず

表紙:ハリー・ポッターと賢者の石

作 J.K.ローリング 訳 松岡佑子 絵 ダン・シュレジンジャー

ハリーのいろいろな行動に、読むたびにドキドキします。ハリーの友情関係や、不思議な魔法も見どころです。

選定委員からの
メッセージ

ファンタジー・SF1



私の好きなとあるアーティストは、子どものころ近くに図書館がなかったので、借りた本を長く楽しもうとノートにすべて書き写し、余白に自分で考えたサイドストーリーを書き込んでいったそうです。

私はこの話を聞いたとき、『はてしない物語』(ミハエル・エンデ作 岩波書店)を思い出しました。物語の本筋から去っていくとき、「けれどもこれは別の物語、いつかまた、別のときにはなすことにしよう。」と新たな冒険をほのめかされる登場人物たち。その広がりはまさにはてしなく、物語世界のあまりの奥深さに震えが走ったものです。

今回おすすめしてもらった本も、物語として書かれた部分を入口として、その向こうにはそれぞれの世界がはてしなく広がっていることでしょう。多くの世界を訪ね歩くもよし、一つの世界を深く旅するもよし。みなさんのお好みの世界を探してみてください。

009

家族

理論社

9136



カラフル

からふる

作 森絵都

私が好きな作家のひとりです。この本の内容は、前世で罪を犯した「ぼく」が、天使によって下界に戻り修行、つまり罪をつぐなうという話です。話の内容が斬新で読んでいてびっくりしたり笑えたり。ある意味ファンタジーというような感じがします。「ぼく」は「小林真」という少年の体を借りています。言葉どおり一心同体です。この主人公も中学三年生。すぐく親近感が湧きますね。「ぼく」は「真」の運命なんてどうでもいいと思っているけど、いつかそれがぼく自身の運命だと分かったら、きっと新しい世界だと楽しめると思います。／山田東中 すもももももものうち

自分や家族をこれまでと違った視点で見られるようになる本です。

010

家族

金の星社

9136



ハッピーバースデー —命かがやく瞬間

はっぴーばーすデー —いのちかがやくとき

作 青木和雄 画 加藤美紀

現在、問題となっている虐待によって、声を失ってしまった少女あすか。そのあすかが、周囲の力や環境により、大きく成長していく物語です。辛いことがあっても、自分一人ではないことや、自分の力や周りの力で、人はどんどん大きくなっていけることを教えてくれます。おすすめです。ぜひ読んでみてください。／川名中 T.I

主人公と自分を重ねて読んだり、力強く生きていくあすかやあすかの周りの人たちに感動したり、親の愛の大切さに気付いたり、多くの人たちから感想が寄せられた人気の一冊です。

011

家族

徳間書店

779



佐賀のがばいばあちゃん

さがのがばいばあちゃん

作 島田洋七

がばい(すごい)ばあちゃんとの明るく奇想天々な貧乏生活を描いています。苦しいけれどなぜか笑ってしまう物語です。

012

家族

毎日新聞社

9136



手紙

てがみ

作 東野圭吾

強盗殺人犯で弟思いの兄とその影響で周りの人間から差別されていく弟のお話。残酷さと小さな優しさ、絆が感動の一作です。

013

家族

金の星社

9136



レネット 金色の林檎

れねっと きんいろのりんご

作 名木田恵子

原発事故で病気になった少年が主人公の家に来て、バラバラになっていた家族の絆が…。読むと優しい気持ちになれます。

選定委員からの
メッセージ

家族



一番身近で一番小さな社会でありながら、家庭の姿は実にいろいろです。ただ、今の自分があるのはこれまでの家族の存在を抜きにしては考えられません。喜びを分かち合いたいとき、苦しいとき、悲しいとき、落ち込んだとき……あなたにとって家族はどんな存在であってほしいですか。また、家族にとってあなたはどんな存在なのでしょう。親に存在を否定された「あすか」(『ハッピーバースデー』)が立ち直れたのはなぜでしょうか。「小林真」(『カラフル』)が今生で問題を解決できたのはなぜでしょうか。また、『佐賀のがばいばあちゃん』は貧乏生活を描いているのになぜ楽しく読めるのでしょうか。

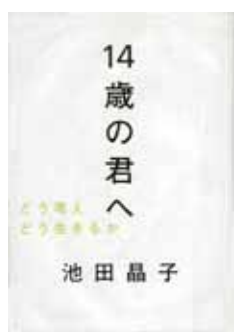
さまざまな家族の姿を知り、家族についての考えを深め、家族の一員としての自分を見つめ直してみましょう。新たな自分が見つかるに違いありません。また、自分を振り返ることで新たな生き方を模索したりするきっかけにもなることでしょう。

014

人生のバイブル

毎日新聞社

100



14歳の君へ—どう考えどう生きるか

14さいのきみへ—どうかんがえどういきるか

著 池田晶子

あなたは、「なぜ勉強をしなければいけないのか」と思ったことはありませんか。この本を読み、勉強は単に「テストでいい点を取るため」にするわけではなく、「自分で物事をしっかりと考えて行動できる力を養うため」にするのだと分かりました。そして、それが「賢い人生」を歩むことにつながると気付かされました。また、この本は勉強や人間関係などで悩む人に向けて、それを解決するヒントも書かれています。／浄心中 U.D

14歳といえば、人付き合いや勉強などで悩みをもつことが多い時期ですね。この本で、少し「ほっ」とさせてくれるアドバイスを探してみませんか。

015

人生のバイブル

講談社

002



16歳の教科書シリーズ

16さいのきょうかしょしりーず

表紙:ドラゴン桜公式副読本 16歳の教科書 なぜ学び、なにを学ぶのか

編 7人の特別講義プロジェクト&モーニング編集部

この本は、国語・数学・理科・社会・英語・心理の専門的分野で活躍する七人の著者が、「勉強」について語った一冊の本で、テーマは「なぜ学び、なにを学ぶのか」です。この本を読む前までは、「なぜ数学を勉強するのか」「日本人がなぜ英語を勉強するのか」が疑問でした。しかし、この本を読んで解決しました。「なぜ勉強をして高校や大学へ行くのか」、そのような疑問をもっている人におすすめの本です。／牧の池中 E.H

映画監督、ジャズシンガー、学者…いろいろな分野で活躍する人たちが考える学校や勉強とは…?これを読めば、学校生活が大きく変わるかもしれません。

016

人生のバイブル

PHP研究所

159



大人になる前に身につけてほしいこと

おとなになるまえに身につけてほしいこと

作 坂東真理子

まさに「人生の道しるべ」といえるような本です。「友達付き合いのルール」など生活でためになるアドバイスを学べます。

017

人生のバイブル

マガジンハウス

159



13歳からのシンプルな生き方哲学

13さいからのしんぶるないきかたてつがく

作 船井幸雄

自分ができると思う行動から始めることによって、様々な道が開けると思いました。いろいろな考え方が分かる本です。

018

人生のバイブル

小学館

141



細野真宏の数学嫌いでも

「数学的思考力」が飛躍的に身に付く本

ほそのまさひろのすうがくざらいでも
「すうがくてきしこうりよく」がひやくてきにみにつくほん

作 細野真宏

数学が苦手な自分でもスラスラと読めましたので、多くの人たちにも読んでもらい、数学的思考力を身に付けてほしいです。

選定委員からの
メッセージ

人生のバイブル



「16歳の教科書」シリーズを読めば、きっと学校や勉強について、見方が変わると思えます。今、こうして社会人となった私が読んでも、心打たれるものがあり、学習意欲がわいてきます。何気なく勉強し、進学を考えていた中学生の頃の私が読んでいけば、また違った刺激を受けていたことでしょう。『13歳からのシンプルな生き方哲学』は、人生の大先輩である著者が、単純明快に生きる上での知恵を教えてください。壁にぶつかったとき、悩んでしまったとき、力になってくれる一冊となるはずです。「人生のバイブル」とは、読む人の生活環境や状況によって変わっていくものだと思います。しかし、その本との出会いが早ければ早いほど、人生が実りあるものへと変化する速さも増していくはずです。人生において、「成功した」と自信をもって言える人たちのほとんどは、やはりたくさんのすばらしき本と出会い、そこから多くのことを学んでいます。みなさんも人生を豊かにするバイブルに出会うことを心から願います。